

2023 年 12 月 26 日
日本船主協会 海事人材部

～商船系高専「次世代の海洋人材の育成に関する事業」へ協力～
船舶管理、港湾・物流業務現地調査、業界関係者との意見交換会の開催

日本船主協会では、2008 年 7 月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人海技者確保のための活動をしています。その一環として、当協会は毎年、国立高等専門学校(商船系)教員への Faculty Development (FD) 研修および業界関係者との意見交換会に協力しています。同研修では、高専教員が海運界の現状に関する理解を深め、産業界の現況および最新動向を視察調査し、求められる海事技術者の人材像を理解すること、および学生が在学中に備えるべき知識や技能、資質を把握し、学生の教育指導に反映すると共に、船社等関係者と高専教員との間で産業界と教育現場の相互の現状に関する情報を共有することにより教育力の向上をめざすことを目的としています。本年度は東京(12 月 14 日)と千葉(12 月 15 日)で開催しました。

(1) 講演会・施設見学

① 機関故障予兆診断システム (12 月 14 日: 於 東京 当協会)

予兆診断については、(株)商船三井 スマート SHIPPING 推進部スマートシップ輸送チーム 鳴瀧チームリーダーより、同社における環境や DX に関わる基礎的な事項から、現在取り組んでいる事例、システム開発、および今後の展開について講演が行われた。



講演中の鳴瀧氏

② 株式会社ウェザーニューズ(以下、WNI 社)見学 (12 月 15 日: 於 千葉 WNI 社)

ウェザールーティングについて WNI 社 SEA Planning Sales & Marketing Team 井元 マネージャーおよび土子気象予報士より、船舶の大きさや積荷、安全性、経済性、環境性を考慮して推薦航路を提案していること、また、うねりや氷山の状況も航路選定に反映しているなどの説明があり、同社内の施設見学を行った。



講演中の土子氏



施設見学中の模様

(2) 5 高専教員と内航海運会社の意見交換会（12月14日：於 東京 海運会館）

意見交換会では、耐ストレス性・タフネスの涵養、海事技術者の海上と陸上における活躍、キャリア形成、および、海運・船員という仕事に親しみや憧れを持ってもらうための方策をテーマに活発な意見交換が行われた。特に耐ストレス性・タフネスの涵養については長時間にわたり意見交換が行われ、高専側からは、クラブや寮生活において縦割りの上下関係で指導することができず、教育現場での対処が年々困難になりつつある旨の発言があった。一方、内航海運会社からは、人手不足の折から耐ストレス性のある即戦力を希望する旨の要望があった。また、キャリア形成や海運・船員の魅力向上には、教育側と業界側が連携し双方で対応していく必要性が認められた。同意見交換会に当協会からは人材確保タスクフォース内航 WG メンバーの7社が参加した。



意見交換会の模様